

「歳運轉持」

* 五八一〇 蓋し率ひきいる者ものは衰こん衰こんなり、行く者ものは緩急かんきゆうを爲なす、

* 五八一〇復元1 容いる者ものは塊お塊おなり、居おる者ものは動止どうしを爲なす、

* 五八一〇復元2 緩急かんきゆうなる者ものは經けいの機きなり、

* 五八一〇 動止どうしなる者ものは爲いの機きなり、

* 五八一〇 經通けいつうは發收はつしゆうの物ぶつに由よりて、而しかして歳運さいうんを成せいす、

* 五八一〇 緯動いどうは散結さんけつの物ぶつに從したがいて、而しかして轉持てんじを成せいす、

* 五八一〇 神しんなる者ものは物ぶつを用もちいる者ものなり、

* 五八一〇 物ぶつなる者ものは神しんに體たいする者ものなり、故ゆえに

* 五八一〇 衰こん衰こん塊お塊お。氣きは動うごき物ぶつは止とどまる。

* 五八一〇 一いちは統すべ而しかして二には分わかる。故ゆえに

* 五八一〇 各體かくたいは物ぶつを爲なす、

* 五八一〇 各神かくしんは事じを用もちう、

* 五八一〇 物ぶつは虚きよに 非あらざれば則すなわち實じつす、

* 五八一〇 用ようは居おるに非あらざれば則すなわち行いく、故ゆえに

* 五八一〇 天動地止てんどうちしは、居おりて動うごく、

* 五八一〇 神しん爲い天成てんせいは、立たちて行いく、故ゆえに

* 五八一〇 運轉環守うんてんかんしゆ、 嚀こ喩きゆう發收はつしゆうなる者ものは、動止どうしなり、

* 五八一〇 歳運さいうんの消長しょうちやう、象行しょうかうの盈縮えいしゆくなる者ものは、緩急かんきゆうなり、

* 五八一〇 體たいに居おり氣きに行いく。以もつて事物ぶつな成なる。是こゝを以もつて

(I 442a)

五八二五

没露體用。往くとして然らざる無きなり。

五八二六*

大小の間は。則ち大は天地を以て動止す、

五八二七―三三三

(欄外加筆につき削除。)

五八三四*

大は天地を以て動止す、

五八三五*

小は天地に由りて動止す、

五八三六

天地を以てする者は、行居 方位を露せず、

五八三七

天地に由りてする者は、行居 各方位に由る

(PB 402)